

四季の森通信

平成27年 8月21日
篠山市立中央公民館
篠山市網掛 429
TEL079-594-1180
館長 樋口 裕昭

篠山のストーリー 日本遺産認定!!

日本遺産に認定されました、そのストーリーのテーマは・
『丹波篠山デカンショ節ー民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶』です。
このストーリーの作成に関わられた村上由樹課長（社会教育・文化財課）にお話を聞きました。



公民館のお得意様

童謡の会 あひる

結成してもう13年、童謡唱歌を歌う会「あひる」です。毎月1回歌が好きなお仲間が市内各地から集まって、第3土曜日に城東公民館で音楽療法士の小島幸子先生に指導していただいています。メンバーは50人を超え、童謡はもちろん懐メロから民謡までいろんなジャンルの歌をリクエストし合って毎回20曲ぐらい歌っています。「楽しく歌う」をモットーに、楽しい仲間を募集中です。一緒に歌いませんか！



連絡先
594-4318
大川まで

次号のお題「日本遺産」十月二十二日締め切り

川柳

同じ傘でもいろいろな傘があって楽しませて頂きました。

最優秀

大空の大きなかさに見守られ

佳作

雨止めばこれ程邪魔な物はない

惚れている方が濡れてる傘ひとつ

蛇の目がさこつぱり姿の日を想う

男性も日傘さして時代です

篠山市南矢代 成田恵美子
篠山市井串 脇田敬子
篠山市住山 松本一等
篠山市網掛 河南茂子
篠山市野間 竹本恵美子

北野哲男選

公民館からのお知らせ

親子の絆づくりプログラム “赤ちゃんがきた!!”

初めての赤ちゃんを育てている新米お母さんのための学びとおしゃべりの会を開きます。

篠山市で初めて開催されるプログラム！
新米お母さん、お待ちしております。

《とき》9月29日・10月6日・13日・20日
全て火曜日 4回講座
午後1時30分～3時30分

《内容》・新しい出会い ・赤ちゃんのいる生活
・赤ちゃんとの接し方 ・親になること
(プログラム90分 交流タイム30分)

《会場》四季の森生涯学習センター東館 2F和室
《対象》篠山市在住の第1子が2～5ヶ月(9/29現在)
の赤ちゃんとお母さん 16組(先着)

《参加費》800円(テキスト代)

《申込み》

篠山市立中央公民館
TEL 594-1180
FAX 594-1174

思春期から
花ひらく
子育て

子どもの
“安定感”
を育みます

一生勉強一生青春

このコーナーでは、生涯学習に励まれている青春真っ只中の方をご紹介します。



人権住民学習がマンネリ気味。
その脱出の鍵は、
住民が素人ながらに頑張っている
「劇」スタイルでした。

青木御代さん(乾新町)

素人同志が寄り合って自分達で学び、意見を出し合いながらの劇作りでは、やる側も見る側も自分達の町は自分達で良くしようという意識が自然に芽生えてきました。「台本を持って堂々と舞台に立てばいい。素人が一生懸命やっている気迫、熱意を見てほしい。」と言いながら早16年。今年は兵庫県人権大会に呼ばれ、会場に1,000人もいる大舞台に立つことになりました。

乾劇団が発足したのは、乾新町に昔あった映画館のおかげかもしれません。子どもの頃から映画をよく見ていました。おもしろい映画には良い台本が不可欠と気付き、個人的に台本の勉強しておりました。今では月一回、～あの新丹波・楽天座がまち協でよみがえる～と題して映画上映会を実施しています。

編集後記

デカンショ節に歌われた、篠山の暮らし、篠山の文化が日本遺産として認定されたことは、本当に快挙でした。酒井市長が常々「世界のみなさん！こんにちは！」と挨拶されるくだりは、最初はピンときませんでした。今回、日本遺産に認定されたことで、この挨拶がとても現実味を帯び、しっくりくるようになってきました。そのことを市長にお話すると、「毎日祈っているから」という返事。もしかしたら、公務よりも大切な仕事だったのかもしれない。市長！ブラボー！（波）

【四季の森通信配布先】

四季の森通信のバックナンバーを置いてあります。ご希望の方は中央公民館まで

篠山市立中央公民館・本庁玄関ロビー・多紀支所・城東支所・西紀支所・丹南支所・今田支所・篠山市民センター
中央図書館・総合スポーツセンター・ハートピアセンター・今田まちづくりセンター・川代体育館・西紀運動公園
篠山市健康福祉センター・東雲診療所・西紀老人福祉センター

“ストーリー”を紡ぐ物語

「日本遺産」とは？

文化庁が海外に日本の文化を発信することを目的としたまったく新しいタイプの文化遺産の活用施策です。今まで個々で発信してきた遺産を関連づけてひとつのストーリーを作り活用・発信していくというもので、当初15ヵ所程度が初年度認定すると公表がありました。

どんなことに苦労されましたか？

既に京都市や高山市など横綱級の府県や市町が手を上げているとの情報や、日本遺産認定を目指し、既に委員会を立ち上げている市町もあると聞いていました。篠山の魅力を最大限に伝えるテーマを見つけるのに時間を要しました。

篠山の魅力。ズバリ注目した点は？

ここ約10年の間だけでも、各地域住民のたゆまぬ取り組みが実り、市内各所の文化財が指定や選定を受けました。また全国に先駆けて篠山市歴史文化基本構想を策定し、各地域で歴史文化を活かした取り組みが継続して行われています。そして丹波杜氏や丹波焼、お祭、特産物など世界に誇れる文化もあります。

日本遺産に認定されることで、さまざまな篠山の歴史文化や、まだ知られていない篠山の魅力を伝えられるといいなと考えました。

多岐に亘る篠山の魅力を、どのようにひとつのストーリーにしましたか？

様々な文化遺産を関連づけて、魅力を確実に伝えなければなりません。「デカンショ節」には、先人の暮らしや生活、そして心意気までもが刻み込まれており、篠山の魅力を表現する為に必要なものが全て備わっていました。

これからの取り組みは？

第一号として選ばれた篠山市のこれからの取り組みは、今後100件程度認定される日本遺産の中でもトップランナーとしての役割を担っているといえます。日本遺産は海外向けの日本文化発信施策であると同時に、ひとつのまちづくりでもありますので、しっかりと将来のイメージを持ってまちづくりに取り組むことが大切だと思います。

日本遺産の認定にあたり、印象に残っていることは？

西洋美術史の第一人者でもある青柳文化庁長官と公務で半日間同行しました。長官は篠山の町並みや工芸に大変関心をもたれていました。移動の車中で、長官と日本の文化についてざくばらんに話ができたことがとても貴重な経験となりました。

この課での仕事は10年になりますが、絶えず新しい仕事に出会い、新鮮な気持ちで仕事に取り組めることは幸運です。

日本遺産のポイント

デカンショ節に歌われている

文化遺産など

デカンショ節に刻まれる

ふるさとの記憶

デカンショ節と共に息づく

人々のこころ



戦後いちばんといえる
歴史的快挙です!!

時代絵巻のように
これからも篠山を
綴っていきましょう。

♪ デカンショ デカンショと 唄うて回れ〜
世界いずこの 果てまでも♪

♪ 雪がちらちら 丹波の宿に 猪が飛び込む 牡丹鍋〜♪

この歌詞と歌われる情景が丹波篠山にあります。丸山集落は10件の旧茅葺民家が特徴になっており、今も現役として2棟が農家民泊として活用されています。(ストーリーより抄録)



郷土味学講座

今年から「伝承コース」を新設!

篠山の人々が篠山の郷土料理を作れるのは い〜の〜!

篠山市の食育推進の一環として、今年度から篠山市に古くから伝わる料理を学ぶ「伝承コース」が設けられ、6月19日(金)に開講しました。来年2月までの5回講座で、篠山の特産物を生かした季節に応じた郷土料理を学びます。

篠山で郷土料理を作れる人を増やし、伝統的な食文化を次世代に継承していくことを目指しています。



おすすめ!!
梅みそ

同量の青梅とみそと砂糖を鍋に入れ、梅が煮とろけるまで弱火でゆっくり煮詰めます。



第1回目のメニュー

- 《春から夏のごちそう》
- ・ちりめん山椒ごはん
 - ・ゆで豚と野菜の梅みそかけ
 - ・茶葉入りかき揚げ
 - ・トマトのかきたまスープ
 - ・抹茶羹



お茶の木なんて家の周りにたくさんあるのに葉を利用することなどありませんでした。これからは使っていきたいです。梅みそも簡単に作れて、何にでも合いそうですね。

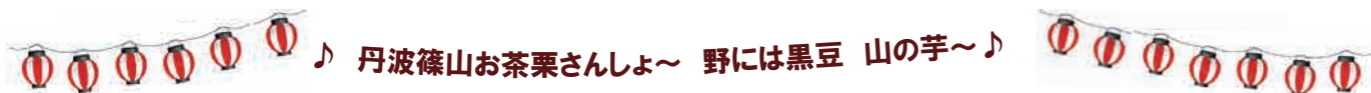


▲森本先生



▲田中先生

講師は、大山地区の伝承料理「とらめし」で地域おこしを進めている、コミュニティキッチン結良里(ゆらり)の森本淑子代表と田中のぶ子さん。



ご当地温泉卓球全国大会in雲仙温泉

篠山パワー雲仙にて炸裂!



見てください!
この素晴らしい手作りのゼッケン!

ご当地温泉独自のラケットを使った卓球大会が7月12日長崎県雲仙市の雲仙温泉湯元ホテルにて開催されました。

篠山市から、今年2月の桶ツ卓球大会にて優勝し、この大会への出場権を引き当てた「見返り微人」の河南文子さんと岸本佐知子さんが参戦しました。

お二人は、100組のトーナメントで3回戦を勝ち上がり、4回戦で惜しくも破れましたが、ベスト16内に入りました。



▲河南・岸本ペアは、得意な桶はもちろん、慣れないスリッパ、鍋ぶた、木うちわ、手形も器用に使いこなしていました。

楽しい経験をさせていただきありがとうございます。桶以外の練習ができていれば……!

地元テレビ局の取材も篠山をアピール!

高齢者大学



あおやま学園

鳥目線の空撮映像
「空の世界へ」

講師 空撮アーティスト
前田太陽さん

6月9日(火)
篠山市民センター

「まるで、先生と空を飛んでいるようでした。」
前田さんは、丹波市在住のマルチコプターを使用したアーティストです。大きな画面で鑑賞した映像作品は、丹波地域を鷹揚と飛び鳥の如く爽快なものでした。途中、カメラを搭載した機体を使って会場を生中継! 目の前で飛行し、自分たちを撮影する機体に受講生は大興奮しました。実際には、この中継画面をコントローラーに装着し、機体本体の動きも目視しながら、撮影に挑まれるそうです。

また、マルチコプターの自由自在な動きと、GPS機能を利用した獣害対策を、篠山の企業と共同研究されています。受講生は「自分の町も撮影してほしい。」「新しい感性に触れる事が出来た。」と新しい夢と経験を得ることができました。

さざり学園

プロフェッショナル篠山版
〜挑戦者たち〜

講師 丹波新聞社
萩野祐一さん

7月3日(金)
今田まぢづくりセンター



今田町出身の偉人「下中与三郎・市原清兵衛の伝記」を講演いただき、人々に受け継がれている反骨精神や人道主義などの気質や独自性を学びました。

★下中与三郎 今田の名誉町民

1878年、兵庫県多紀郡今田村に生まれる。1914年に平凡社を創設。『大百科事典』を出版し、一躍「事典」出版社として著名になる。

一時期、丹波新聞社の社長就任。晩年は平和運動や世界連邦運動を推進した。1961年没。

★市原清兵衛・佐七父子 今田市原村

篠山藩において厳しい「出稼ぎ禁止令」が出されていた頃、違反者には過酷な処罰が下されていました。

凶作のため窮地に追い込まれた人々を救うため、息子佐七と共に江戸の藩主に直訴し、二人は処罰されましたが、禁止令は2年後に解除されました。

高齢者大学の「出会い・ふれあい・学びあい」をサポート

趣味講座(午後)でご指導いただいている講師先生をご紹介します。

論語講座



熊谷 満 先生

私と論語との出会いは、二十歳代に安岡正篤という人の著書に巡り合ったことで、それ以来論語大好き人間になりました。

論語は堅苦しく、敷居が高いと思っておられるようですが、決してそのようなことはありません。日常生活の中で実践すれば、毎日が一層心豊かに暮らすことができる、素晴らしい言葉の宝庫です。



ちぎり絵講座



橋元 文子 先生

しゅんこう認定講師(財)日本和紙ちぎり絵協会賛同会員

講座の初めに自分のやりたい教材を選んでもらいます。ちぎり絵の教材は、主に手すき和紙を利用します。作り方はちぎったり、剥いたり、はさみで切ったりと、指先を使うので頭の体操になります。

受講生の皆さんは和気あいあいと、時には無心になり、一つの作品を完成させます。その時の喜びは格別です。

ヨガ講座



山崎 美代子 先生

ヨガ人生50年。幼い頃ひ弱だった身体も、今では病気はおろか疲れ知らず。

大阪では100人超、篠山でも40人を超える生徒を指導しています。

自分の身体の動きにくいところを知り、その部分を少しずつ動くようにすることで健康になっていきます。

少しの頑張りが明日の笑顔につながっていきますので、痛いのをほんの少しだけ我慢しましょうね。

パソコン講座



谷口 昇 先生

パソコンは、今は多くの人を使う便利な道具の一つです。少しの根気があれば

難しいものではありません。何度でも聞いてください。ゆっくり一步一步前進しましょう。

時間があれば自筆の文書で、忙しい時には、以前にパソコンで作成していた文書を手直してみたり、その時々に応じた選択肢を増やしてみてもいいのでは



♪ お国問われて 肩いからせて

俺は丹波の篠山だ

(デカンショ節歌詞50選より)